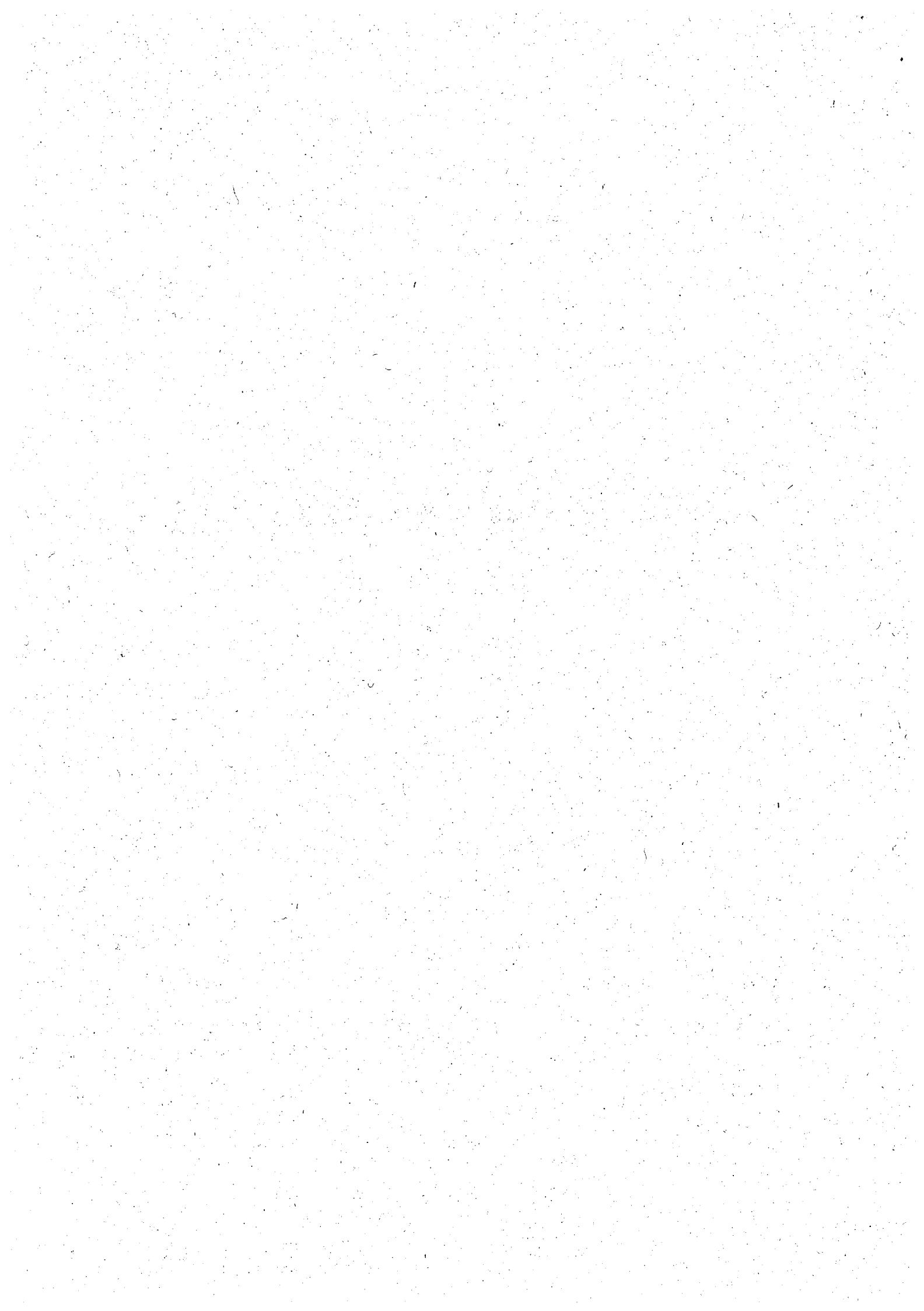


資料1-1

「川島町環境基本計画」に基づく 令和3年度施策の進捗状況について

～これは「雑紙(ざつがみ)として処分できます～



施策取組状況確認シート	
基本方針	1 自然環境の保全
対象分野	1 自然景観
環境保全の目標	自然景観の形成により、田園景観を適正に保全する。
行政の施策	① 田園環境の保全と農業の活用 ② 自然景観の保全・創出に向けた広報・PR
取組事業名	② 各自治会が主体となり、町との協働による美化運動の実施。
計画期間	・全地区対象の美化運動は6月、10月、2月の年3回実施。 ・安藤川をきれいにする会による安藤川沿いのクリーン作戦(14地区対象)と、埼玉県央域荒川クリーン協議会における荒川河川敷不法投棄一斉撤去(関係機関職員対象)は11月の同日実施。
成果指標	20%以上(各美化運動への総人口に対する参加者人口比)
R3目標値	・行政区の美化運動実施。(美運運動の開催に係る、町民への適正な情報周知(4回/年:安藤川クリーン作戦含む))。 (コロナ禍の状況下、感染症を防ぐための清掃活動10のポイントによる注意喚起を行う)
R3実績値	・令和3年度の美化運動については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から6月のみを実施し、10月・2月については中止となった。(人口比 8%:1,694人/19,564人) ・安藤川をきれいにする会による安藤川沿いのクリーン作戦についても中止。 ・埼玉県央域荒川クリーン協議会における荒川河川敷不法投棄一斉撤去に対しては、コロナ禍ではあるが、規模を縮小して実施。
R4目標値	20%以上(各美化運動への総人口に対する参加者人口比)
最終目標値(終期)	美化運動は、全国的に行われている運動で、町では年4回、自治会が主体となり、町との協働により実施している(安藤川沿い14地区が対象となる安藤川クリーン作戦含む)。美化運動は、地域のコミュニティ活動として町民に定着しており、環境保全の一端をなっている。またポイ捨て等に対するモラル向上にも寄与しているため、今後も事業実施を継続していく。
実施・進捗状況評価	○:概ね実施・進行している。
目標達成度状況(%) R3実績値/R3目標値	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、6月の美化運動のみの実施となってしまったため、評価に馴染まない。
目標達成度評価	--:評価に馴染まない(数値目標に馴染まない等)
課題	・全地区対象の美化運動に対して、地区独自の活動である「もがり」もあるため、地区的負担が大きいという声がある。 ・参加者は高齢者が多く、年々人員の確保が困難になっている。 ・中山(八幡団地)地区より、美化運動時の臨時収集箇所を増設してほしいという声がある。 ・美化運動がコロナ禍により中止となっている。一斉に行う、地域活動も重要だが、個々で行うごみ拾いなども支援できるような取組を考える必要がある。
担当課	市民生活課(生活環境グループ)

施策取組状況確認シート	
基本方針	1 自然環境の保全
対象分野	1 自然景観(農地)
環境保全の目標	自然景観の形成により、田園景観を適正に保全する。
行政の施策	① 田園環境の保全と農業の活用 ② 自然景観の保全・創出に向けた広報・PR
取組事業名	①-1 経営所得安定対策推進事業 ①-2 多面的機能支払交付金事業 ①-3 農地集積事業
計画期間	①-1、①-2、①-3 毎年度実施
成果指標	①-1 需要に応じた生産の促進。 ①-2 各年度ごとに活動組織1組 追加。 ①-3 農地中間管理事業を活用し、農地を集積。
R3目標値	①-1 水稲の生産数量目標の達成。 ①-2 1組織増やし計5組織にする。 ①-3 農地中間管理事業を活用した農地集積面積 累計750ha。
R3実績値	①-1 水稲の生産数量目標の達成。 ①-2 1組織増やし計5組織にする。 ①-3 農地中間管理事業を活用した農地集積面積 累計742ha。
R4目標値	①-1 水稲の生産数量目標の達成。 ①-2 1組織増やし計6組織にする。 ①-3 農地中間管理事業を活用した農地集積面積 累計770ha。
最終目標値	①-1 需要に応じた生産の達成。農業者の所得向上。 ①-2 各年度1組織設立。各地区ごと(旧村単位)に1組織以上。 ①-3 農地中間管理事業を活用した農地集積面積 累計850ha(R12)。
実施・進捗状況評価	○:概ね実施・進行している。
目標達成状況(%) R3実績値／R3目標値	①-1 100% ①-2 100% ①-3 99%
目標達成度評価	○:概ね達成した(目標に対して80%以上100%未満を達成)
課題	①-1 主食用米の消費低下等による、米価の下落。 ①-2 地区で事業を推進するリーダーがない。事務が煩雑。 ①-3 未登記農地。制度が活用できない農地(狭小、陸田、放棄地等)。
担当課	農政産業課

施策取組状況確認シート	
基本方針	1自然環境の保全
対象分野	1自然景観
環境保全の目標	自然景観の形成により、田園景観を適正に保全する。
行政の施策	① 田園環境の保全と農業の活用 ② 自然景観の保全・創出に向けた広報・PR
取組事業名	② 桜づつみ及び、川の広場・さくら通りの保守管理
計画期間	② 通年(隨時実施)
成果指標	② 釘無地内堤防上の桜堤及び、川の広場・さくら通りの適正管理の実施。
R3目標値	② 目標設定になじまない
R3実績値	② 業務委託による管理を実施
R4目標値	② 目標設定になじまない
最終目標値	② 目標設定になじまない
実施・進捗状況評価	○:概ね実施・進行している。
目標達成状況(%) R3実績値／R3目標値	② 目標設定になじまない
目標達成度評価	—:評価に馴染まない(数値目標に馴染まない等)
課題	② 業務委託による管理を実施しているが、対象地が広範囲に及び、除草作業回数も限がある。年間を通しての管理が困難である。
担当課	まち整備課都市計画G

施策取組状況確認シート	
基本方針	1 自然環境の保全
対象分野	1 自然景観
環境保全の目標	自然景観の形成により、田園景観を適正に保全する。
行政の施策	① 田園環境の保全と農業の活用 ② 自然景観の保全・創出に向けた広報PR
取組事業名	① 学校給食センターの運営事業(地元産食材の利用拡大)
計画期間	① 毎年度実施(通年実施)
成果指標	① 地元産食材の使用割合 ※「米」については、川島町産米 ※「いちじく」及び「いちご」に関しては旬の時季における給食提供には、全量町内産を使用する。その他の食材については、指標として定めることが困難
R3目標値	① 米については、「川越藩のお蔵米 彩のきずな」を100%使用している。 なお、令和元年度(平成31年度)より、KJブランド認証米であり、減農薬・有機肥料の使用を徹底した「川越藩のお蔵米 彩のきずな」を学校給食で使用している。 ② いちじく及びいちごについても、町内産を100%使用している。
R3実績値	① 米・いちじく・いちごについては、100% ② 必要量を仕入れできる範囲で使用した
R4目標値	① 米・いちじく・いちごについては、100% ② ①以外に使用できる品目を増やしていく(目標値の設定にはなじまない)
最終目標値	① 米・いちじく・いちごについては、100% ② ①以外の食材については、品目や使用方法の検討が必要。(目標値の 設定にはなじまない)
実施・進捗状況評価	○:概ね達成した(目標に対して80%以上100%未満を達成)
目標達成状況(%) R3実績値／R3目標値	—:評価に馴染まない(数値目標に馴染まない等)
目標達成度評価	○:概ね達成した(目標に対して80%以上100%未満を達成)
課題	本町は水田地帯であり、野菜の作付面積が限られるため、品目や収穫量が少なく、安定した必要量を確保できないことがある。よって、米以外の地場産食材の使用率はなかなか伸ばすことが困難な状況にある。
担当課	教育総務課(給食グループ)

施策取組状況確認シート	
基本方針	1 自然環境の保全
対象分野	2 河川、水辺
環境保全の目標	水辺空間を保全・回復し、身近な自然としてのを推進する。
行政の施策	① 水辺空間の保全の推進 ② 水辺空間の利用の推進
取組事業名	川の国埼玉はつらつプロジェクト ※県が実施する水辺空間の整備。越辺川・入間川における魚道の整備など。
計画期間	毎年度
成果指標	各種イベントに参加し、事業PR活動
R3目標値	事業PR活動(かわじまはるかぜウォーク、農業商工祭でのPR活動)
R3実績値	事業PR活動をするためのイベントが中止
R4目標値	事業PR活動
最終目標値	川の国埼玉はつらつプロジェクト事業の推進 事業のPR活動
実施・進捗状況評価	一・評価に馴染まない(数値目標に馴染まない等)
目標達成状況(%) R3実績値／R3目標値	0%(イベント中止)
目標達成度評価	一・評価に馴染まない(数値目標に馴染まない等)
課題	川の国埼玉はつらつプロジェクトの事業主体は県であり、町は、事業PR活動の場を提供するのみ。
担当課	農政産業課

施策取組状況確認シート	
基本方針	1 自然環境の保全
対象分野	2 河川、水辺
環境保全の目標	水辺空間を保全・回復し、身近な自然としての利用を推進する。
行政の施策	① 水辺空間の保全の推進 ② 水辺空間の利用の推進
取組事業名	② 平成の森公園内に整備された水辺空間の管理
計画期間	② 通年(隨時実施)
成果指標	② 平成の森公園内の「修景池」「ショウブ園」の景観を維持するために適切な維持管理を実施。
R3目標値	② 目標設定になじまない
R3実績値	業務委託による管理を実施
R4目標値	② 目標設定になじまない
最終目標値	② 目標設定になじまない
実施・進捗状況評価	○:概ね実施・進行している。
目標達成状況(%) R3実績値／R3目標値	② 目標設定になじまない
目標達成度評価	—:評価に馴染まない(数値目標に馴染まない等)
課題	② 修景池の植物(古代蓮)が増殖し過ぎたため、景観を損ねる。適正な管理が課題である。
担当課	まち整備課都市計画G

施策取組状況確認シート	
基本方針	1 自然環境の保全
対象分野	3 動植物、生態系
環境保全の目標	本来の生態系を回復し、貴重な生態系を未来に伝える。
行政の施策	①生物生息空間の確保 ②外来生物対策の推進 ③生物多様性への理解促進
取組事業名	①・③太郎右衛門自然再生協議会と連携した、事業実施。 ②環境保全条例に基づく外来魚種の規制。オオキンケイギク、セアカゴケグモ、クビアカツヤカミキリの駆除の周知。
計画期間	通年
成果指標	生物多様性の認知度の向上。
R3目標値	①・②・③ 認知度の向上として、町広報、HP等により周知・啓発に努める。
R3実績値	・太郎右衛門自然再生協議会と連携した事業の周知。
R4目標値	・継続的な広報、啓発に努める。
最終目標値(終期)	・継続的な広報、啓発に努める。
実施・進捗状況評価	○:概ね実施・進行している。
目標達成度状況(%) R3実績値/R3目標値	太郎右衛門自然再生協議会と連携した事業により、広報・啓発は実施しているが、十分とはいえない状況。
目標達成度評価	○:概ね達成した(目標に対して80%以上100%以下を達成)
課題	生物多様性への理解を広める普及啓発や新たな取組等が乏しいため、具体的な取組を考えていく。
担当課	町民生活課(生活環境グループ)

施策取組状況確認シート	
基本方針	1自然環境の保全
対象分野	3動植物、生態系
環境保全の目標	本来の生態系を回復し、貴重な生態系を未来に伝える。
行政の施策	②外来生物対策の推進
取組事業名	②-1 川島町鳥獣被害防止計画 ②-2 埼玉県アライグマ防除実施計画に基づく、防除の実施
計画期間	②-1 令和3年度～令和5年度 ②-2 毎年度実施
成果指標	②-1 農作物の被害の減少 ②-2 アライグマの捕獲
R3目標値	数値目標になじまない
R3実績値	数値目標になじまない ※アライグマ捕獲数404頭(R3.4～R4.2)
R4目標値	数値目標になじまない
最終目標値	②-1 農作物の被害の減少 ②-2 アライグマの捕獲
実施・進捗状況評価	一：評価に馴染まない(数値目標に馴染まない等)
目標達成状況(%) R3実績値／R3目標値	数値目標になじまない
目標達成度評価	一：評価に馴染まない(数値目標に馴染まない等)
課題	②-1 出丸地区の堤外において、ニホンジカの目撃情報が増えている。 ②-2 埼玉県全体でアライグマが増加傾向にある。
担当課	農政産業課

施策取組状況確認シート	
基本方針	1 自然環境の保全
対象分野	3 動植物、生態系
環境保全の目標	本来の生態系を回復し、貴重な生態系を未来に伝える。
行政の施策	① 生物生息空間の確保 ② 外来生物対策の推進
取組事業名	① ハンノキプロジェクト(つばさ南小学校) ② 「荒川の草花を育てようプロジェクト」(つばさ北小学校)
計画期間	①-1 荒川で減少しているハンノキ林とハンノキに依存する生き物の保存計画(国土交通省との連携事業により毎年度実施)。 ①-2 「三ツ又沼ビオトープ」の環境保全(国土交通省との連携事業により毎年度実施)。 ②-1 荒川に生息する草花を育てるため、荒川の草花の苗を育て、種の収穫を通じて環境について学ぶ。 ②-2 「国土交通省との連携事業により、令和元年(平成31年度)より実施。
成果指標	①-1、①-2、②-1、②-2とも毎年度、国土交通省との連携事業として実施しており、総合学習の一環として実施しているため目標設定になじまない。
R3目標値	①-1、①-2、②-1、②-2 具体的な目標値については、数値での表現に適さないため非表示
R3実績値	国土交通省との連携事業として実施しており、総合学習の一環として実施
R4目標値	①-1、①-2、②-1、②-2 具体的な目標値については、数値での表現に適さないため非表示
最終目標値	①-1、①-2、②-1、②-2 具体的な目標値については、数値での表現に適さないため非表示
実施・進捗状況評価	—:評価に馴染まない(数値目標に馴染まない等)
目標達成状況(%) R3実績値／R3目標値	①-1、①-2、②-1、②-2 具体的な目標値については、数値での表現に適さないため非表示
目標達成度評価	—:評価に馴染まない(数値目標に馴染まない等)
課題	①-1、①-2 ハンノキプロジェクトは、国や県の支援により支えられている。川島町にある三ツ又沼ビオトープで、ハンノキプロジェクトを実施することについて、広報活動を積極的に行うことで、地元の多くの皆様にこのような活動が長く行われていることに关心を持っていたらしくこれが課題である。②-1、②-2 「荒川の草花を育てようプロジェクト」についても、国の支援に支えられている。現地まで行く道路が狭いため交通手段等が課題である。
担当課	教育総務課(学校教育グループ・つばさ南小学校・つばさ北小学校)

施策取組状況確認シート	
基本方針	1 自然環境の保全
対象分野	4 自然とのふれあい
環境保全の目標	自然とのふれあいの推進により、自然環境保全に向けた意識を高める。
行政の施策	① 自然とふれあえる場の整備 ② 自然とふれあう機会の充実
取組事業名	①② 荒川太郎右衛門地区自然再生協議会による各種事業
計画期間	①② 毎年度実施
成果指標	①、②とも数値目標になじまない
R3目標値	① 維持管理作業(植生管理) ② 各種事業の実施 散策イベント(4、5、6、9、10、1月)中止 つばさ北小学校 環境学習(6、2月) かわじま輪中の郷ウォーキングでの事業PR(4月)中止 農業商工祭での桶川西高校水槽展示(11月)中止
R3実績値	維持管理作業、各種事業の実施、事業のPR
R4目標値	
最終目標値(終期)	維持管理作業、各種事業の実施、事業のPR
実施・進捗状況評価	○:概ね実施・進行している。
目標達成度状況(%) R3実績値／R3目標値	①② 100%
目標達成度評価	—:評価に馴染まない(数値目標に馴染まない等)
課題	① 河川敷きのため台風等により冠水する。管理費、修繕費。 ② イベント参加者が少ない。今後はSNSを活用した広報(県や、地元企業、学校などの研修の場としても活用してもらえるようメリットを意識)を実施。
担当課	農政産業課

施策取組状況確認シート	
基本方針	1 自然環境の保全
対象分野	4 自然とのふれあい
環境保全の目標	自然とのふれあいの推進により、自然環境保全に向けた意識を高める。
行政の施策	①自然とふれあえる場の整備 ②自然とふれあう機会の充実
取組事業名	①地域子ども教室(5箇所で実施) ②自然体験教室
計画期間	①平成18年度から実施中 ②平成26年度から実施中
成果指標	①各地区の体験活動における環境学習の導入件数 ②体験活動の参加者数
R3目標値	①「環境学習」を主題とした活動を実施する。 実施例:「米ぶくろで作るエコバック」(中山っ子くらぶ)、「魚釣り」(ハツ保、小見野っ子くらぶ)、「川のふしきを知ろう!~川の博物館見学~」(中山、伊草っ子くらぶ) ②荒川太郎右衛門地区自然再生協議会等、荒川流域の自然保護活動を行っている団体や、町内の企業等と連携し、「環境学習」を主題とした講座を実施する。講座参加者数20名を目標とする。
R3実績値	①「米ぶくろで作るエコバック」(中山っ子くらぶ)、「魚釣り」(ハツ保、小見野っ子くらぶ)、「川のふしきを知ろう!~川の博物館見学~」(中山、伊草っ子くらぶ)等を実施した。 ②新型コロナウイルス感染症の影響により、事業が中止となった。(「君も立派な探検家!!太郎右衛門のネイチャーアドベンチャー」)
R4目標値	①各教室で1回以上の自然体験、環境を考える教室を実施する ②「環境学習」を主題とした講座の参加者数20名
最終目標値	①各教室において「環境学習」を主題とした活動を年間1回程度実施する。 ②講座参加者数20名を目標とする。
実施・進捗状況評価	○:概ね実施・進行している。
目標達成状況(%) R3実績値/R3目標値	①100%/100%(実績4教室、目標4教室) ②評価に馴染まない(数値目標に馴染まない等)
目標達成度評価	○:概ね達成した(目標に対して80%以上100%未満を達成)
課題	①実施年に応じて、魚釣りや稲刈り、野菜収穫、芋ほりといった活動を通して、環境について学んでいるものの、環境を主題とした活動数が少ない。今後、増やしていくとともに、既存の活動の中で環境問題にふれることができるよう構成を工夫したい。 ②天候に左右されるため、実施が安定しない。また、自然環境の保全という趣旨だけでは参加者の興味・関心を得ることが難しく、娛樂的な要素を組み合わせる等の工夫が必要である。
担当課	生涯学習課

施策取組状況確認シート	
基本方針	2 生活環境の保全
対象分野	1. 大気環境
環境保全の目標	大気質の監視を継続し、大気汚染の未然防止に努める。
行政の施策	① 大気環境への負荷の軽減 ② 大気環境の監視と保全意識の高揚
取組事業名	①-1 町環境保全条例に基づくアイドリングストップの推進 ①-2 東松山環境管理事務所との事業者への立入検査の実施 ②ダイオキシン類測定の実施
計画期間	① 随時 ② 令和3年11月5日から令和4年2月21日まで (契約額: 745, 800円)
成果指標	①-1 駐車場関連の苦情件数減少 ①-2 立入の実施 ② 測定の実施。
R3目標値	①-1 苦情は0件。条例に基づき指導する。主に、開発事前協議において、駐車場(20台以上収容または面積が500m ² 以上)設置が予定されている場合に、アイドリングストップ看板設置の義務付けを周知。 ①-2 特定施設の届出がある施設の中で、近年、通報や問題が発生した箇所を、東松山環境管理事務所と事業者への立入検査を実施している。例年15か所程度実施。ただし、令和2年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、同行立入は見直しし、環境管理事務所のみでの立入が主となった。 ② 町内2箇所で、年1回調査。
R3実績値	① 駐車場関連の苦情件数 0件 ② 大気環境の監視として、ダイオキシン類の測定実施と結果の周知。
R4目標値	①-1 苦情は0件。条例に基づき指導する。主に、開発事前協議において、駐車場(20台以上収容または面積が500m ² 以上)設置が予定されている場合に、アイドリングストップ看板設置の義務付けを周知。 ①-2 特定施設の届出がある施設の中で、近年、通報や問題が発生した箇所を、東松山環境管理事務所と事業者への立入検査を実施している。例年15か所程度実施。ただし、令和2年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、同行立入は見直しし、環境管理事務所のみでの立入が主となった。 ② 町内2箇所で、年1回調査。
最終目標値(終期)	①-1 駐車場関連の苦情件数 0件 ①-2 環境管理事務所と連携した対応。 ② 測定結果が継続して良好であるため、今後も測定を継続するか考える必要がある。
実施・進捗状況評価	○:概ね達成した(目標に対して80%以上100%以下を達成)
目標達成度状況(%) R3実績値／R3目標値	①-1 100%(R3実績値0件／R3目標値0件) ②ダイオキシン類の測定実施(西中学校・やすらぎの郷敷地内)
目標達成度評価	○:概ね達成した(目標に対して80%以上100%未満を達成)
課題	・冷凍車等が必要な荷物の積み降ろしをする施設(冷凍食品等を扱う事業所、配送センターなど)の設置者は、アイドリング抑制のために外部電源設備を設置するよう努めなくてはならないが、費用面から思うように進まない現状あり。 ・測定結果が継続して良好であるため、今後も測定を継続するか考える必要がある。
担当課	町民生活課(生活環境グループ)

施策取組状況確認シート	
基本方針	2 生活環境の保全
対象分野	1 大気環境
環境保全の目標	大気質の監視を継続し、大気汚染の未然防止に努める。
行政の施策	①大気環境への負荷の軽減(ごみの野焼き禁止) ②大気環境の監視と保全意識の高揚
取組事業名	①農地パトロール
計画期間	①令和2年4月1日～令和8年3月31日 年1回実施
成果指標	①年間で3回程度、地域の農業委員、農地利用最適化推進委員が主体となり、野焼きなどがないか独自にパトロールを行う。遊休農地や耕作放棄地になると、野焼き等の元凶となる可能性が高くなるため、遊休農地、耕作放棄地の解消に努める。 野焼き通報件数:0件
R3目標値	①農地パトロールを農業委員会全体で、年1回実施 野焼き通報件数:0件
R3実績値	①農地パトロールを農業委員会全体で、年1回実施した。 野焼き通報件数:0件
R4目標値	①農地パトロールを農業委員会全体で、年3回実施(タブレットの活用) 野焼き通報件数:0件
最終目標値	①農地パトロールを農業委員会全体で、年3回実施(タブレットの活用) 野焼き通報件数:0件
実施・進捗状況評価	◎:順調に実施・進行している。
目標達成状況(%) R3実績値／R3目標値	農地パトロール100%、野焼き通報件数100%
目標達成度評価	◎:目標以上に達成した(100%以上を達成)
課題	野焼きについては、基本的に禁止されていることを知らない方も多く、広報紙や農業委員会だより等で周知しているが、通報等はないものの、年間で数件は発生している状況である。
担当課	農業委員会事務局

施策取組状況確認シート	
基本方針	2生活環境の保全
対象分野	2水環境
環境保全の目標	四方を河川に囲まれた美しい水辺環境を守るために、生活排水の適正処理と水質の監視により、より良い水環境を創出する。
行政の施策	① 適正な排水対策の推進 ② 水質の監視と保全意識の高揚
取組事業名	①-1 小型合併処理浄化槽設置整備補助金 ①-2 小型合併処理浄化槽維持管理補助金 ②-1 比企河川合同水質調査 ②-2 東松山環境管理事務所との事業者への立入検査の実施
計画期間	①-1 毎年度末まで受付(完了が年度内) ①-2 毎年度末まで受付 ②-1 毎年度実施 ②-2 特定施設の届出がある施設の中で、近年、通報や問題が発生した箇所を、東松山環境管理事務所との事業者への立入検査の実施箇所としている。
成果指標	①-1 小型合併処理浄化槽設置補助件数(転換分) ①-2 小型合併処理浄化槽定期検査受検率 ②-1 一つの自治体の取組みだけでは達成が難しく目標設定になじまない。 ②-2 隨時対応しており目標設定になじまない。
R3目標値	①-1 転換12件。 ①-2 57.4% ※R3年度分数値については未確定のため、R2年分数値を記載(昨年度までは単独浄化槽を含んだ数値を使用していたが、合併処理浄化槽のみの数値とする)。 ②-1 年4回、7地点を測量 ②-2 隨時実施
R3実績値	①-1 転換10件(単独 → 合併 9件・汲み取り → 合併 1件) 広報紙やHP等により住民に周知を行って単独槽等からの転換を進めている。 ①-2 57.4%
R4目標値	①-1 転換13件(単独 → 合併 12件・汲み取り → 合併 1件) ①-2 58.0%
最終目標値	①-1 町内全ての単独浄化槽(空き家等は除く)を合併浄化槽へ転換。 ①-2 100%
実施・進捗状況評価	△: やや取組が遅れている
目標達成度状況(%) R3実績値／R3目標値	①-1 83.3%(R3実績10件／R3目標12件) ①-2 100.0%(R3実績57.4%／R3目標57.4%)
目標達成度評価	○: 概ね達成した(目標に対して80%以上100%以下を達成)
課題	①-1 水質汚濁の原因の一つとして生活排水の汚れが考えられる。特に単独浄化槽場合は、生活排水が未処理のまま流れてしまうため、合併浄化槽への転換が効果的であるが、既に水洗化されていること、また、補助金を活用しても、自己負担が発生してしまうため、転換への動機付けが弱く思うように転換が進まない。 ②-1 上流の自治体の取組みに影響され、一つの自治体の努力では難しい。また、天候や水量により数値にかなりばらつきがある。
担当課	町民生活課(生活環境グループ)

施策取組状況確認シート	
基本方針	2生活環境の保全
対象分野	2水環境
環境保全の目標	四方を河川に囲まれた美しい水辺環境を守るため、生活排水の適正処理と水質の監視により、より良い水環境を創出する。
行政の施策	① 適正な排水対策の推進 ② 水質の監視と保全意識の高揚
取組事業名	① 雨水排水処理の指導
計画期間	① 通年(随時実施)
成果指標	① 開発等相談における雨水排水処理基準の指導率
R3目標値	① 100%
R3実績値	① 100%
R4目標値	① 100%
最終目標値	① 100%
実施・進捗状況評価	○:順調に実施・進行している。
目標達成状況(%) R3実績値／R3目標値	① 100%
目標達成度評価	○:概ね達成した(目標に対して80%以上100%未満を達成)
課題	① 市街化区域内の一定規模以下の開発行為で、開発事前相談がない場合には、雨水排水処理基準についての行政指導が行えないケースが生じている。
担当課	まち整備課都市計画G

施策取組状況確認シート	
基本方針	2 生活環境の保全
対象分野	2 水環境
環境保全の目標	四方を河川に囲まれた美しい水辺環境を守るために、生活排水の適正処理と水質の監視により、より良い水環境を創出する。
行政の施策	①適切な排水対策の推進 ②水質の監視と保全意識の高揚
取組事業名	①下水道未接続世帯への下水道接続推進
計画期間	①随時
成果指標	①下水道処理区域内の世帯数のうち、水洗化とした世帯の割合
R3目標値	①下水道接続率 97.9%
R3実績値	①下水道接続率 98.5%
R4目標値	
最終目標値(終期)	①100%
実施・進捗状況評価	○:概ね実施・進行している。
目標達成度状況(%) R3実績値／R3目標値	①97.9%/98.5% = 99%
目標達成度評価	○:概ね達成した(目標に対して80%以上100%未満を達成)
課題	接続の意義については理解してもらえるが、高齢者世帯や経済的な理由により接続ができない世帯があり、接続に至っていない。 R2未接続世帯へ戸別訪問を実施し、接続依頼をした。
担当課	上下水道課(下水道グループ)

施策取組状況確認シート	
基本方針	2 生活環境の保全
対象分野	3 騒音・振動
環境保全の目標	騒音公害等の少ない、静かで落ち着いた環境を守る。
行政の施策	① 騒音・振動対策の推進 ② 公害苦情の適正処理
取組事業名	① 法や県条例に基づく指導や、苦情対応 ② 公害に関する速やかな対応及び発生減への指導
計画期間	①、② 随時対応
成果指標	①、② 指標設定はなじまないが、騒音等の公害苦情に対し、現地確認や関係機関との連携し、苦情解決にあたる。
R3目標値	①、②ともに、公害苦情件数を1件でも減らす。
R3実績値	① 苦情件数 2件 ② 苦情件数 3件
R4目標値	① 苦情件数 0件 ② 苦情件数 0件
最終目標値(終期)	①、② 随時対応しており目標設定はなじまない。
実施・進捗状況評価	○:概ね実施・進行している。
目標達成度状況(%) R3実績値／R3目標値	公害苦情件数自体は減少傾向にあるが、対応が必要な案件は少なからず、発生している。その都度、規制等の遵守を徹底させるよう、適正な指導を行っている。
目標達成度評価	○:概ね達成した。(成果指標設定は馴染まないが、騒音等の公害苦情に対応)
課題	①、② 苦情は事情もさまざまであり、経験則が通用しない場合もあり、毎回慎重な対応が求められる。
担当課	町民生活課(生活環境グループ)

施策取組状況確認シート

基本方針	2 生活環境の保全																																																																																																							
対象分野	4 その他公害防止																																																																																																							
環境保全の目標	1 大気質の監視を継続し、大気汚染の未然防止に努めます。																																																																																																							
行政の施策	②大気環境の監視と保全意識の高揚																																																																																																							
取組事業名	①施設から排出されるばいじん及び焼却灰、排ガス等環境調査 1)ばい煙測定 2)ごみ組成分析 3)燃え殻調査 4)飛灰調査 ②放射性物質測定検査																																																																																																							
計画期間	①及び②共通: 焼却施設が稼動を停止するまで毎年実施																																																																																																							
成果指標	①②共通で、国が定める基準値を超えないように運転管理をしていく。																																																																																																							
R3目標値	各項目の規制値未満の数値																																																																																																							
R3実績値	<p style="text-align: center;">2.1.2 調査結果 ばい煙測定結果を表-2-2に示す。</p> <p style="text-align: center;">表-2-2 ばい煙測定結果総括表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">期日</th> <th colspan="2">令和3年</th> <th colspan="2">令和4年</th> <th rowspan="2">規制値 (上乗せ)</th> <th rowspan="2">指導基準</th> </tr> <tr> <th>6月24日 (1号炉)</th> <th>8月25日 (2号炉)</th> <th>1月28日 (1号炉)</th> <th>2月4日 (2号炉)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ばいじん濃度</td> <td>g/m³</td> <td>実測値 換算値(12%)</td> <td>0.0028 0.021</td> <td>0.0025 0.0066</td> <td><0.0025 <0.0094</td> <td><0.0025 <0.0077</td> <td>— 0.15</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>全硫黄酸化物基準</td> <td>ppm</td> <td>実測値 換算値(12%)</td> <td><0.4 <0.011</td> <td><0.35 <0.018</td> <td>0.37 0.018</td> <td><0.31 <0.018</td> <td>— 73.23</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>塩素酸化物濃度</td> <td>ppm</td> <td>実測値 換算値(12%)</td> <td>82 190</td> <td>32 90</td> <td>32 110</td> <td>48 120</td> <td>— 250</td> <td>180</td> </tr> <tr> <td>塩化水素濃度</td> <td>mg/m³</td> <td>実測値 換算値(12%)</td> <td><1.5 <2.7</td> <td><1.6 <3.4</td> <td><1.4 <4.8</td> <td><1.4 <4.7</td> <td>— 700 (200)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>全水銀濃度</td> <td>pp g/m³</td> <td>実測値 換算値(12%)</td> <td><0.4 34.800</td> <td><0.5 62.400</td> <td><0.6 51.600</td> <td><0.6 56.200</td> <td>— 50</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>排出ガス量</td> <td>m³/h</td> <td>粗り 吸き</td> <td>34.800 30.600</td> <td>62.400 51.900</td> <td>51.600 46.900</td> <td>56.200 54.200</td> <td>— —</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>排出ガス温度</td> <td>℃</td> <td></td> <td>131</td> <td>156</td> <td>141</td> <td>146</td> <td>— —</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>排出ガス流速</td> <td>m/s</td> <td></td> <td>5.06</td> <td>9.68</td> <td>7.62</td> <td>9.80</td> <td>— —</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>水分率</td> <td>%</td> <td></td> <td>11.9</td> <td>16.9</td> <td>9.1</td> <td>10.5</td> <td>— —</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>融点測定</td> <td>%</td> <td></td> <td>16.2</td> <td>16.9</td> <td>15.5</td> <td>18.0</td> <td>— —</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1) 平成12年4月1日から、商業物質焼却炉に係るばいじんの排出基準は、大気汚染防止施行規則・附則「総理府令27: 平成10年4月10日公布」(抄)により定められた排出基準が適用されている。 注2) 变更酸化物は、工場・事業場に係る埼玉県変更酸化物対策指導方針により指導基準が施行されている。(昭和59年3月24日決定) 注3) 基準値を定める条例の値は、平成12年4月1日から大気汚染防止法第4条第1項の規定に基づき、排出酸素燃焼炉に係る塩化水素について上乗せ基準が適用されている。</p>	項目		期日	令和3年		令和4年		規制値 (上乗せ)	指導基準	6月24日 (1号炉)	8月25日 (2号炉)	1月28日 (1号炉)	2月4日 (2号炉)	ばいじん濃度	g/m³	実測値 換算値(12%)	0.0028 0.021	0.0025 0.0066	<0.0025 <0.0094	<0.0025 <0.0077	— 0.15	—	全硫黄酸化物基準	ppm	実測値 換算値(12%)	<0.4 <0.011	<0.35 <0.018	0.37 0.018	<0.31 <0.018	— 73.23	—	塩素酸化物濃度	ppm	実測値 換算値(12%)	82 190	32 90	32 110	48 120	— 250	180	塩化水素濃度	mg/m³	実測値 換算値(12%)	<1.5 <2.7	<1.6 <3.4	<1.4 <4.8	<1.4 <4.7	— 700 (200)	—	全水銀濃度	pp g/m³	実測値 換算値(12%)	<0.4 34.800	<0.5 62.400	<0.6 51.600	<0.6 56.200	— 50	—	排出ガス量	m³/h	粗り 吸き	34.800 30.600	62.400 51.900	51.600 46.900	56.200 54.200	— —	—	排出ガス温度	℃		131	156	141	146	— —	—	排出ガス流速	m/s		5.06	9.68	7.62	9.80	— —	—	水分率	%		11.9	16.9	9.1	10.5	— —	—	融点測定	%		16.2	16.9	15.5	18.0	— —	—
項目					期日	令和3年		令和4年			規制値 (上乗せ)	指導基準																																																																																												
		6月24日 (1号炉)	8月25日 (2号炉)	1月28日 (1号炉)		2月4日 (2号炉)																																																																																																		
ばいじん濃度	g/m³	実測値 換算値(12%)	0.0028 0.021	0.0025 0.0066	<0.0025 <0.0094	<0.0025 <0.0077	— 0.15	—																																																																																																
全硫黄酸化物基準	ppm	実測値 換算値(12%)	<0.4 <0.011	<0.35 <0.018	0.37 0.018	<0.31 <0.018	— 73.23	—																																																																																																
塩素酸化物濃度	ppm	実測値 換算値(12%)	82 190	32 90	32 110	48 120	— 250	180																																																																																																
塩化水素濃度	mg/m³	実測値 換算値(12%)	<1.5 <2.7	<1.6 <3.4	<1.4 <4.8	<1.4 <4.7	— 700 (200)	—																																																																																																
全水銀濃度	pp g/m³	実測値 換算値(12%)	<0.4 34.800	<0.5 62.400	<0.6 51.600	<0.6 56.200	— 50	—																																																																																																
排出ガス量	m³/h	粗り 吸き	34.800 30.600	62.400 51.900	51.600 46.900	56.200 54.200	— —	—																																																																																																
排出ガス温度	℃		131	156	141	146	— —	—																																																																																																
排出ガス流速	m/s		5.06	9.68	7.62	9.80	— —	—																																																																																																
水分率	%		11.9	16.9	9.1	10.5	— —	—																																																																																																
融点測定	%		16.2	16.9	15.5	18.0	— —	—																																																																																																
R4目標値	各項目の規制値未満の数値																																																																																																							
最終目標値	焼却施設の停止まで、各項目の規制値未満の数値																																																																																																							
実施・進捗状況評価	◎: 順調に実施・進行している。																																																																																																							
目標達成状況(%) R3実績値/R3目標値	100% (予定した検査回数、測定値は基準未満)																																																																																																							
目標達成度評価	○: 概ね達成した(目標に対して80%以上100%未満を達成)																																																																																																							
課題	施設の経年劣化により、排ガス規制機能などの能力が低下してきており、施設のメンテナンスが重要となる。																																																																																																							
担当課	町民生活課(ゼロ・ウェイスト推進室)																																																																																																							

施策取組状況確認シート	
基本方針	3快適環境の保全
対象分野	1公園・緑地
環境保全の目標	公園・緑地の適正管理や景観の創出により、好適な地域環境を形成する。
行政の施策	<ul style="list-style-type: none"> ① 公園・緑地の適正な整備と維持・管理 ② 良好な景観の形成・創出
取組事業名	<ul style="list-style-type: none"> ①-1 公園、緑地の適正な維持管理 ①-2 鳥羽井沼周辺公園化事業の推進(整備) ② 違反屋外広告物の監視強化
計画期間	<ul style="list-style-type: none"> ①-1 通年(隨時実施) ①-2 公園整備完了まで ② 通年(隨時実施)
成果指標	<ul style="list-style-type: none"> ①-1 定期的な改修修繕等の実施や、大規模な整備については計画的に実施し、緊急性の高いものについては早急な対応を実施。 ①-2 鳥羽井沼周辺の公園化 ② 定期的に禁止地域をパトロールし、違反指導を実施。
R3目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①-1 目標設定になじまない ①-2 公園化に向けての整備、管理、活用方法の検討。 ② 改善率50%
R3実績値	<ul style="list-style-type: none"> ①-1 目標設定になじまない ①-2 公園化に向けての整備、管理、活用方法の検討。 ② 改善率42%
R4目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①-1 目標設定になじまない ①-2 公園化に向けての整備、管理、活用方法の検討。 ② 改善率50%
最終目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①-1 目標設定になじまない ①-2 令和7年度末(公園整備完了予定) ② 65%
実施・進捗状況評価	○:概ね実施・進行している。
目標達成状況(%) R3実績値/R3目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①-1 目標設定になじまない ①-2 公園整備完了 ② 改善率65%
目標達成度評価	○:概ね達成した(目標に対して80%以上100%未満を達成)
課題	<ul style="list-style-type: none"> ①-1 施設の老朽化が著しい。施設の更新または長寿命化の検討が必要である。 ①-2 公園化に向けた基本設計が未実施であり、事業の停滞が懸念される。 ② すべての違法看板を把握するのが困難であること
担当課	まち整備課都市計画G

施策取組状況確認シート	
基本方針	3 快適環境の保全
対象分野	2 歴史・文化
環境保全の目標	地域の特徴や個性を活かしながら、後世に残すよう努める。
行政の施策	文化財の保護
取組事業名	①文化財の保存事業 ②文化財の調査事業 ③文化財に対する意識向上事業
計画期間	継続的に実施する。
成果指標	①文化財の保存・活用に関する事業を実施する。 ②町内の埋蔵文化財包蔵地における土木工事等の開発行為に対して、埋蔵文化財の有無を確認するため、試掘調査を実施する。 ③郷土の歴史・人物・自然環境などに関する講座を実施する。
R3目標値	①年2回の防災設備の点検を実施する。 ②包蔵地に係る埋蔵文化財について、開発予定地が該当する場合は、試掘を実施する。 ③川島町の水(水害・治水)に関する講座を実施する。
R3実績値	①国指定重要文化財広徳寺大御堂の防災設備保守点検事業に補助金を交付した。 ②町内の埋蔵文化財包蔵地における土木工事等の開発行為に対して、埋蔵文化財の有無を確認するため、2件(堂地遺跡)の試掘調査を実施した。 ③水害から命を守るシンポジウム～歴史・経験に学び、未来につなげる～を開催予定であったが、埼玉県にまん延防止等重点措置が適用されたため、令和4年度に延期をすることを決定した。
R4目標値	①年2回の防災設備の点検を実施する。 ②包蔵地に係る埋蔵文化財について、開発予定地が該当する場合は、試掘を実施する。 ③川島町の水(水害・治水)に関する講座を実施する。
最終目標値	①郷土の歴史・人物・自然環境などに関する講座を年間1回程度実施する。 ②参加者数50名。
実施・進捗状況評価	◎:順調に実施・進行している。
目標達成状況(%) R3実績値/R3目標値	① 100%/100% (R3実績1件/R3目標1件) ② 100%/100% (R3実績2件/R3目標2件) ③ 評価に馴染まない(数値目標に馴染まない等)
目標達成度評価	○:概ね達成した(目標に対して80%以上100%未満を達成)
課題	歴史・自然・地理など、川島町の環境に係るの特徴を知ることのできる講座を継続的に実施し、参加者の興味・関心を得るために工夫が必要である。
担当課	生涯学習課

施策取組状況確認シート	
基本方針	3 快適環境の保全
対象分野	4 廃棄物・リサイクル
環境保全の目標	適正なごみ処理事業を継続し、環境への負荷の軽減に努める。
行政の施策	① ごみの減量化の推進 ② リサイクルと適正処理の推進
取組事業名	② 集団資源回収事業報奨金交付
計画期間	② 年間を通じて実施
成果指標	② 回収量・交付金
R3目標値	② 数量 400,000kg 交付金 1,200,000円
R3実績値	② 各団体が実施した資源回収量に対して、川島町集団資源回収事業報奨金交付要綱に基づき報奨金を交付 R3年度 数量 166,811kg 交付金 500,433円
R4目標値	② 数量 400,000kg 交付金 1,200,000円
最終目標値	目標設定になじまない。
実施・進捗状況評価	○：概ね実施・進行している。
目標達成状況(%) R3実績値／R3目標値	② 29.3% (R3実績値 166,811kg / R3目標値 400,000kg)
目標達成度評価	△：目標を下回った(目標に対し80%未満)
課題	② 平成28年度に、年2回以上の実施が補助要件となっていたが、構成メンバーの減少もあり、年1回以上の実施という要件に改正。今後の推移を見守りたい。なお、令和3年度についても、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、実施しない団体が多く、回収量は大幅減となっている。
担当課	市民生活課(ゼロ・ウェイスト推進室)

施策取組状況確認シート	
基本方針	3 快適環境の保全
対象分野	3 廃棄物・リサイクル
環境保全の目標	適正なごみ処理事業を継続し、環境への負荷の削減に努めます。
行政の施策	① ごみの減量化の推進 ② リサイクルと適正処理の推進
取組事業名	① 家庭からのごみの減量化 -1 マイバッグ持参運動の推進 -2 小・中学生を対象としたごみ処理施設見学や体験学習の継続 ② 事業所からのごみの減量化 -1 事業者に対する情報提供や啓発活動の継続 -2 事業系ごみ運搬業者への指導・啓発 ③ ごみ処理施設の維持管理事業 -1 役場の紙ごみの再資源化 -2 ごみの適正処理(施設の適正管理、定期的な維持補修)
計画期間	① 家庭からのごみの減量化 -1 マイバッグ持参運動の推進 -2 小・中学生を対象としたごみ処理施設見学や体験学習の継続 ② 事業所からのごみの減量化 -1 事業者に対する情報提供や啓発活動の継続 -2 事業系ごみ運搬業者への指導・啓発 ③ ごみ処理施設の維持管理事業 -1 役場の紙ごみの再資源化 -2 ごみの適正処理(施設の適正管理、定期的な維持補修)
成果指標	① 積極的なPR及び事業の取組み。 ② 老朽化が進行する施設を、修繕箇所の優先順位を見極め必要最小限の経費で施設を延命化する。
R3目標値	①-1 レジ袋の有料化に合わせ、広報かわじまで周知 -2 つばさ北小が社会科見学で来所 ②-1 10月から11月にかけ、町内事業所の立入確認を行った。 -2 10月から11月にかけ、運搬業者に対し展開検査を実施。 ③-1 機密文書の溶解処理を実施(7月と3月) -2 R2座芥処理費 30,941千円
R3実績値	① 家庭からのごみの減量化 -1 マイバッグ持参運動の推進 -2 小・中学生を対象としたごみ処理施設見学や体験学習の継続 ② 事業所からのごみの減量化 -1 事業者に対する情報提供や啓発活動の継続 -2 事業系ごみ運搬業者への指導・啓発 ③ ごみ処理施設の維持管理事業 -1 役場の紙ごみの再資源化
R4目標値	
最終目標値(終期)	① 家庭からのごみの減量化 -1 マイバッグ持参運動の推進 -2 小・中学生を対象としたごみ処理施設見学や体験学習の継続 ② 事業所からのごみの減量化 -1 事業者に対する情報提供や啓発活動の継続 -2 事業系ごみ運搬業者への指導・啓発 ③ ごみ処理施設の維持管理事業 -1 役場の紙ごみの再資源化 -2 ごみの適正処理(施設の適正管理、定期的な維持補修)
実施・進捗状況評価	① 現状で取組可能な事業は実施済(新型コロナウィルス感染症の影響あり) ② 目標設定は困難。
目標達成度状況(%) R3実績値/R3目標値	
目標達成度評価	O:概ね達成した。 (数値目標には馴染まず、成果指標の具体的な数値はあげていないが、積極的な広報誌への情報掲載による周知、施設修繕箇所の見極め(優先順位)つつ、延命化を図っているため、概ね達成したと考える。)
課題	① ごみ処理問題に興味関心が薄く、ごみの分別意識が浸透していない町民への周知方法。
担当課	町民生活課(ゼロ・ウェイスト推進室)

施策取組状況確認シート	
基本方針	3 快適環境の保全
対象分野	4 環境美化、不法投棄対策
環境保全の目標	ごみの散乱や不法投棄のない清潔な地域環境の創出に努める。
行政の施策	① 美化活動の推進 ② 不法投棄対策の充実・強化
取組事業名	①-1 美化運動の実施 ②-1 シルバーハウスによる町内巡回パトロール ②-2 空き地の適正管理(雑草等) ②-3 東松山環境管理事務所との不法投棄パトロール
計画期間	①-1 年3回 ②-1 月間計画表に基づき実施 ②-2 隨時 ②-3 年1回
成果指標	美化運動の実施及び、不法投棄パトロールの実施。
R3目標値	①-1 年3回の実施。 ②-1 町内を巡回パトロールしていただき、不法投棄ごみを発見したい回収。毎月10日程度実施。 ②-2 通報等がありしたい土地所有者へ適正管理の依頼する。 ②-3 東松山環境管理事務所と合同でパトロール。
R3実績値	①-1 年3回の地域の美化運動は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止となった。また荒川クリーン作戦については、規模を縮小して実施。 ②-1 町内を巡回パトロールしていただき、不法投棄ごみを発見したい回収。毎月10日程度実施(実施日数120日) ②-2 通報や発見がありしたい草刈を手配 ②-3 東松山環境管理事務所と合同でパトロールを実施済。
R4目標値	今後も継続して同様の目標値を達成するため取組を実施する。
最終目標値(終期)	今後も継続して同様の目標値を達成するため取組を実施する。
実施・進捗状況評価	○:概ね実施・進行している。
目標達成度状況(%) R3実績値/R3目標値	①-1 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止。 ②-1 100% ②-2 100% ②-3 100%
目標達成度評価	○:概ね達成した(目標に対して80%以上100%未満を達成)
課題	空き地などの指導については、ほとんどの地権者が対応してくれているが、町外の一部の地権者の中には対応が遅れがちな面も見られる。また、現在の地権者が不明で、対応に苦慮する場合もある。不法投棄については、継続的に発生しており、啓発看板の設置等で抑止を図る、また、堤外については、関係機関と連携し、投棄しにくい環境づくりを進めいく必要があり。
担当課	町民生活課(生活環境グループ)

施策取組状況確認シート	
基本方針	4 環境保全活動の推進
対象分野	1 地球温暖化防止
環境保全の目標	地球温暖化防止に向けて、日常生活や事業活動を見直す。
行政の施策	① 町の事務事業からの温室効果ガスの排出削減
取組事業名	①-1 エコアップ推進活動 ①-2 庁舎の太陽光発電設備の導入
計画期間	①-1 毎年度、5月1日から10月31日まで、クールビズを実施 冬場の空調設備の温度設定を、原則一律22°Cに設定 ①-2 庁舎屋上に太陽光発電設備20kW、蓄電池15kWを設置
成果指標	①-1 随時実施しているものであり、目標設定になじまない ①-2 工事の完了
R3目標値	①-2 100%
R3実績値	①-1 随時実施 ①-2 平成27年11月末より稼働中
R4目標値	①-2 100%
最終目標値	①-2 100%
実施・進捗状況評価	◎：順調に実施・進行している。
目標達成状況(%) R3実績値／R3目標値	①-2 100%／100%
目標達成度評価	◎：目標以上に達成した(100%以上を達成)
課題	①-1 空調設備の一律温度管理は、部署ごとに寒暖差があるので、執務環境を低下させないよう、状況把握しながら進めていく必要がある ①-2 太陽光発電設備の導入状況を更に周知し、環境教育等の啓発活動に結び付けていきたい
担当課	政策推進課(管財・契約グループ)

施策取組状況確認シート	
基本方針	4 環境保全活動の推進
対象分野	1 地球温暖化防止
環境保全の目標	地球温暖化防止に向けて、日常の生活や事業活動を見直す。
行政の施策	①町の事務事業からの温室効果ガスの排出削減 ②町民や事業者の意識向上
取組事業名	①地球温暖化対策実行計画(事務・事業編)の推進
計画期間	①令和5年度
成果指標	①温室効果ガス(CO ₂)のH28比の削減 ②広報やHPによる、温暖化対策にかかる意識向上のための記事掲載
R3目標値	①温室効果ガス(CO ₂)のH28比の削減 ②広報やHPによる、温暖化にかかる意識向上のための記事掲載。
R3実績値	①令和3年度数値は未確定だが、 ②未策定。
R4目標値	①単年度単位での明確な目標値はないが、年度ごとに状況把握を行う。 ②広報やHPによる、温暖化にかかる意識向上のための記事掲載。
最終目標値(終期)	①令和5年までに基準年(平成28年度)比5%(136t)以上CO ₂ を削減。
実施・進捗状況評価	○:概ね実施・進行している。
目標達成度状況(%) R3実績値/R3目標値	①令和3年度数値は未確定だが、見込みでは概ね達成を想定。 ②未策定。
目標達成度評価	○:概ね達成した(目標に対して80%以上100%未満を達成)
課題	川島町地球温暖化対策実行計画(事務・事業編)の進捗管理を行い、目標達成に向けた取組をしっかりと推進していく。なお、温室効果ガス(CO ₂)の算定には「排出係数」があり、電気については、係数が減少傾向のため、温室効果ガス(CO ₂)は減少傾向となるが、使用量についても、しっかりと削減する取組を進めていく。
担当課	町民生活課(生活環境グループ)

施策取組状況確認シート	
基本方針	4 環境保全活動の推進
対象分野	1 地球温暖化防止
環境保全の目標	地球温暖化に防止に向けて、日常の生活や事業活動を見直す。
行政の施策	① 温室効果ガスの排出削減 ② 町民や事業者の意識向上
取組事業名	温室効果ガスの排出削減事業(学校への太陽光発電設備等の導入事業)
計画期間	①毎年度実施(川島中学校については、2023年度以降) ※川島中学校については、現行の屋上については、建物構造上設置できない。
成果指標	①小中学校への太陽光発電設備及び蓄電池設置
R3目標値	①87.5%(現状値) ※平成30年3月31日をもって、閉校となった2校を除くと83.3%(6校中5校設置済み)
R3実績値	①87.5%(新規設置なしの現状どおり)
R4目標値	①87.5%(新規設置なしの現状どおり)
最終目標値	②100%(2023年度以降)
実施・進捗状況評価	—: 評価に馴染まない(数値目標に馴染まない等)
目標達成状況(%) R3実績値／R3目標値	87.5%(8校中、川島中学校を除く7校に設置済み)(平成29年度末) 83.3%(閉校となった2校を除く6校中、川島中学校を除く5校に設置済み)(平成30年度～)
目標達成度評価	—: 評価に馴染まない(数値目標に馴染まない等)
課題	新規設置については、国庫補助金や県補助金を活用したが、今後の更新等については、全額町予算で対応する必要があり財政的な負担が大きい。また、廃校となった2校に設置してある設備については、跡地の活用次第によっては、処分等を行う必要もある。
担当課	教育総務課(学校教育グループ)

施策取組状況確認シート	
基本方針	4 環境保全活動の推進
対象分野	2 省エネ・省資源
環境保全の目標	適切な支援施策により、家庭や事業所での効果的な省エネを推進する。
行政の施策	①省エネ・省資源の取り組み、省エネ機器の普及の推進 ②自動車利用に際しての省エネの推進
取組事業名	①-1 庁舎等公共施設への再生可能エネルギーの導入 ①-2 低燃費・低公害車の導入 ②-1 エコドライブの実施 ②-2 地域公共交通の導入
計画期間	①-1 庁舎設備に、中水設備、地中熱利用設備及び高効率空調・照明器具(LED)を導入。 ①-2 公用車の更新時、PHEV車やハイブリッド車等を導入。 ②-1 随時実施。 ②-2 毎月、デマンドタクシーの利用状況を収集し、地域の実情に合った公共交通の導入を検討。
成果指標	①-1 工事の完了。 ①-2 全公用車におけるPHEV車、ハイブリッド車等の割合。 ②-1 安全運転講習等により繰り返し教育していくものであり、目標設定になじまない。 ②-2 地域の実情に合わせ、その都度見直していくものであり、目標設定になじまない。
R3目標値	①-1 100% ①-2 10.0%
R3実績値	①-1 平成27年11月末より稼働中。 ①-2 公用車50台中、5台をハイブリッド車に更新済み(全体の10.00%) ※トヨタプリウス2台、ホンダフィット1台、ニッサンセレナ1台、トヨタカムリ1台
R4目標値	①-1 100% ①-2 12.00%(6台)
最終目標値	①-1 100% ①-2 14.00%(7台)※令和4年度末
実施・進捗状況評価	○:概ね実施・進行している。
目標達成状況(%) R3実績値／R3目標値	①-1 100% ①-2 100%
目標達成度評価	○:概ね達成した(目標に対して80%以上100%未満を達成)
課題	①-1 導入状況を更に周知し、環境教育等の啓発活動に結び付けていきたい。 ①-2 予算の制約もあるが、EVの導入など環境に配慮した取り組みを率先して行っていく必要がある。 ②-1 特に運転技術が未熟なものへの教育を重点的に実施していく必要がある。 ②-2 費用対効果や民間バス事業者等とのバランスを踏まえ、適切かつ持続可能な交通弱者支援策を実施する必要がある。
担当課	政策推進課(管財・契約グループ)

施策取組状況確認シート	
基本方針	4 環境保全活動の推進
対象分野	2 省エネ・省資源
環境保全の目標	適切な支援施策により、家庭や事業所での効果的な省エネを推進する。
行政の施策	① 省エネ・省資源の取り組み、省エネ機器の普及の推進 ② 自動車利用に際しての省エネの推進
取組事業名	①-1 エコライフDAYの実施 ①-2 クールビズ、ウォームビズの実施 ①-3 クールシェアの実施 ② 公用車使用時のエコドライブ推進
計画期間	①-1 夏休み前、冬休み前(年2回) ①-2 クールビズ(5月1日～10月31日)、 ウォームビズ(冬季) ①-3 7月1日～9月30日 ② 通年
成果指標	① 役場の事務事業における電気使用量の削減量(28年比) ② 公用車のガソリン使用量の削減量(28年比)
R3目標値	① 電気使用量 5%減(H28年比) ② ガソリン使用量 5%減(H28年比)
R3実績値	① 0.3%減 ② 26.4%減 ※ R3実績が未確定のため、R2実績を参考値として使用
R4目標値	① 電気使用量 5%減(H28年比) ② ガソリン使用量 5%減(H28年比)
最終目標値(終期)	継続的な事業実施
実施・進捗状況評価	○:概ね実施・進行している。
目標達成度状況(%) R3実績値／R3目標値	① 0.6% ② 100%以上
目標達成度評価	△:目標を下回った(目標に対し80%未満)
課題	①-1 県ホームページへ直接申し込みとしたので、参加者数等町では把握できない。 ①-2 真夏日(最高気温30℃以上)、猛暑日(最高気温35℃以上)、が増える傾向にある。クールビズは浸透しているが、過度な省エネについては、職場環境の悪化につながる恐れがある。 ②公用車のエコドライブは利用に際しての省エネ行動であり、今後の推進していく予定だが、ほかにハイブリット車やEV車の導入なども担当課と連携して考えていく必要がある。
担当課	町民生活課(生活環境グループ)

施策取組状況確認シート	
基本方針	4 環境保全活動の推進
対象分野	3 環境教育・環境学習
環境保全の目標	環境教育・環境学習の推進により、町民や事業者の環境保全意識を高揚します。
行政の施策	① 環境情報の提供の推進 ② 環境教育・環境学習の活発化
取組事業名	① 環境情報の提供 ② 3R運動推進事業
計画期間	① 令和11年度まで ② 令和11年度まで
成果指標	①②共通で、町民に対して環境問題の情報を共有すること
R3目標値	①身近に取り組める情報を隨時、発信していく。 ②幅広い層への、情報発信と理解度を高めるための仕掛けづくり。
R3実績値	① 広報紙へのごみ情報の掲載、HPへの環境情報の掲載、ごみ分別アプリによる情報発信。 ②小学生施設見学。
R4目標値	①身近に取り組める情報を隨時、発信していく。 ②幅広い層への、情報発信と理解度を高めるための仕掛けづくり
最終目標値	①②共通で、継続していく。
実施・進捗状況評価	△: やや取組が遅れている
目標達成状況(%) R3実績値／R3目標値	①②共通で、数値での表現は困難。
目標達成度評価	△: 目標を下回った(目標に対し80%未満)
課題	環境問題をより身近な問題として、日常生活の中で、環境保全活動に取り組んでもらうことへの情報発信。
担当課	町民生活課(ゼロ・ウェイスト推進室)

施策取組状況確認シート	
基本方針	4 環境保全活動の推進
対象分野	3 環境教育・環境学習
環境保全の目標	環境教育・環境学習の推進により、町民や事業者の環境保全意識を高揚させる。
行政の施策	① 環境情報の提供の推進 ② 環境教育・環境学習の活発化
取組事業名	①、② 田園環境の保全と農業の活用(みどりの学校ファームなどの農業体験事業を促進し、環境教育を推進する。)
計画期間	① 隨時実施 ② 毎年度実施
成果指標	① 隨時対応しており目標設定になじまない。 ② 学校で定期的に取り組んでいるため目標設定になじまない。
R3目標値	① 隨時対応しており目標設定になじまない。 ② 学校で定期的に取り組んでいるため目標設定になじまない。
R3実績値	① 毎年度、川島町みどりの学校ファーム推進協議会を開催し、関係機関との情報交換を行った後、各校でそれぞれ農業体験を行い、環境教育の推進が図れた。 ② 每年度、川島町みどりの学校ファーム推進協議会を開催し、関係機関との情報交換を行った後、各校でそれぞれ農業体験を行い、環境教育の推進が図れた。
R4目標値	① 隨時対応しており目標設定になじまない。 ② 学校で定期的に取り組んでいるため目標設定になじまない。
最終目標値	① 隨時対応しており目標設定になじまない。 ② 学校で定期的に取り組んでいるため目標設定になじまない。
実施・進捗状況評価	—: 評価に馴染まない(数値目標に馴染まない等)
目標達成状況(%) R3実績値／R3目標値	① 隨時対応しており目標設定になじまない。 ② 学校で定期的に取り組んでいるため目標設定になじまない。
目標達成度評価	—: 評価に馴染まない(数値目標に馴染まない等)
課題	特になし。
担当課	教育総務課(学校教育グループ)

施策取組状況確認シート	
基本方針	4 環境保全活動の推進
対象分野	3 環境教育・環境学習
環境保全の目標	環境教育・環境学習の推進により、町民や事業者の環境保全意識を高揚させる。
行政の施策	① 環境情報の提供の推進 ② 環境教育・環境学習の活発化
取組事業名	環境教育・環境学習の活性化(小・中学生を対象としたごみ処理施設見学会)
計画期間	① 随時実施 ② 毎年度実施(令和2年度は新型コロナウイルスの影響で、中山小学校、つばさ南小学校のみ実施)
成果指標	① 随時対応しており目標設定になじまない。 ② 学校で定期的に取り組んでいるため目標設定になじまない。
R3目標値	① 随時対応しており目標設定になじまない。 ② 学校で定期的に取り組んでいるため目標設定になじまない。
R3実績値	① 随時対応しており目標設定になじまない。 ② 学校で定期的に取り組んでいるため目標設定になじまない。
R4目標値	
最終目標値(終期)	① 随時対応しており目標設定になじまない。 ② 学校で定期的に取り組んでいるため目標設定になじまない。 ※ただし、川島町のごみ減量化削減目標の趣旨を意識して実施している。
実施・進捗状況評価	① 随時対応しており目標設定になじまない。 ② 学校で定期的に取り組んでいるため目標設定になじまない。 ※ただし、川島町のごみ減量化削減目標の趣旨を意識して実施している。
目標達成度状況(%) R3実績値／R3目標値	
目標達成度評価	—:評価に馴染まない(数値目標に馴染まない等)
課題	小中学校では、様々な教育を行っているため、環境教育・環境学習について、十分時間を確保できない。
担当課	教育総務課(学校教育グループ)

施策取組状況確認シート	
基本方針	4 環境保全活動の推進
対象分野	3 環境教育・環境学習
環境保全の目標	環境教育・環境学習の推進により、自然環境保全に向けた意識を高める。
行政の施策	①環境情報の提供の推進 ②環境教育・環境学習の活発化
取組事業名	①地域子ども教室(各地区6箇所で実施) ②自然体験教室
計画期間	①平成18年度から実施中 ②平成26年度から実施中
成果指標	①各地区の体験活動における環境学習の導入件数 ②体験活動の参加者数
R3目標値	①「環境学習」を主題とした活動を実施する。 実施例:「米ぶくろで作るエコパック」(中山っ子くらぶ)、「魚釣り」(三保谷、ハツ保、小見野っ子くらぶ)、「川のふしぎを知ろう!~川の博物館見学~」(ハツ保っ子くらぶ) ②荒川太郎右衛門地区自然再生協議会等、荒川流域の自然保護活動を行っている団体や、町内の企業等と連携し、「環境学習」を主題とした講座を実施する。講座参加者数20名を目標とする。
R3実績値	①各教室で自然体験、観光学習の事業を実施した。 ②新型コロナウイルス感染症の影響により、事業が中止となった。(「君も立派な探検家!太郎右衛門のネイチャーアドベンチャー」)
R4目標値	①各教室で自然体験、環境学習の事業を継続して実施する。 ②「環境学習」を主題とした講座の参加者数20名
最終目標値	①各教室において「環境学習」を主題とした活動を年間1回程度実施する。 ②講座参加者数20名を目標とする。
実施・進捗状況評価	○:概ね実施・進行している。
目標達成状況(%) R3実績値/R3目標値	①100%/100%(実績4教室、目標4教室) ②評価に馴染まない(数値目標に馴染まない等)
目標達成度評価	○:概ね達成した(目標に対して80%以上100%未満を達成)
課題	①実施年に応じて、魚釣りや稲刈り、野菜収穫、芋ほりといった活動を通して、環境について学んでいるものの、環境を主題とした活動数が少ない。今後、増やしていくとともに、既存の活動の中で環境問題にふれることができるよう構成を工夫したい。 ②天候に左右されるため、実施が安定しない。また、自然環境の保全という趣旨だけでは参加者の興味・関心を得ることが難しく、娛樂的な要素を組み合わせる等の工夫が必要である。
担当課	生涯学習課

施策取組状況確認シート	
基本方針	4 環境保全活動の推進
対象分野	4 環境保全活動
環境保全の目標	地域が一体となった環境保全活動の推進により、『良好な地域社会が良好な地域環境をつくり、良好な地域環境が良好な地域社会をつくる』という環境と社会の好循環を形成する。
行政の施策	① 自発的な環境保全の取り組みの推進 ② 連携・協力による環境保全の取り組みの推進
取組事業名	① エコアクション21認証取得に向けた無料講習会開催 ②-1 「埼玉県央域荒川クリーン協議会」による一斉撤去 ②-2 「安藤川をきれいにする会」による安藤川クリーン作戦
計画期間	① 年間全4回の研修を予定。 ②-1 令和3年11月25日、26日 ②-2 令和3年11月28日
成果指標	① 参加企業数 ②-1 事業の実施 ②-2 事業の実施及び参加者数(対象行政区人口に対する参加者割合)
R3目標値	① 町内団体1団体以上の登録申請。 ②-1 埼玉県央域荒川クリーン協議会と連携しての事業実施。 ②-2 20%(対象行政区人口に対する参加者割合) 安藤川沿線地域(14自治会)の参加によるクリーン作戦の実施。
R3実績値	① 5つの企業が参加(町内団体なし)。川越市、日高市、富士見市、坂戸市、三芳町と合同で講習会を開催。参加企業は無料で受講できる。講習会開催のための事前打合せ、町HPや町広報紙による事前周知、10人以上の従業員を要する企業あて紹介文書送付。町商工会役員会におけるPR ②-1 2日間実施 合計360kg(可燃・不燃・粗大・家電テレビ3台等) ③-2 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止。
R4目標値	① 町内団体1団体以上の登録申請。 ② 国・県と連携した事業実施。 ③ 安藤川沿線地域(13自治会)の参加によるクリーン作戦の実施。
最終目標値(終期)	① 5団体(町内団体の申請増加を図る) ② 継続した事業実施による、河川環境の保全充実 ③ 継続した事業実施による、河川環境の保全充実
実施・進捗状況評価	△:やや取組が遅れている
目標達成度状況(%) R3実績値/R3目標値	① 0% ②-1 100% ②-2 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止。
目標達成度評価	△:目標を下回った(目標に対し80%未満)
課題	① 町HP、広報等で周知を行ったが、町内からの参加はなかつたため、継続的な周知が必要。 ②-1 クリーン作戦により、ごみの撤去は可能だが、捨てられない環境整備もしっかり考える必要がある。 ②-2 クリーン作戦により、ごみの撤去は可能だが、捨てられない環境整備もしっかり考える必要がある。
担当課	市民生活課(生活環境グループ)

